

○地域協議会から地域審議会へ。  
○老朽化した庁舎の改築で地域センター機能を。

3. 分庁機構の早期見直しについて  
○市長部局の本庁舎と周辺への集約。

○地域局の空きスペースは市民活動センターとして。

### 小笠原 恒男 議員

1. 地域づくりにおける商工会と行政の役割

○商工会の地域を支える中小企業に対する地域密着型経営支援サービスを強化するための巡回指導の徹底強化。

○地域資源活用や農商工連携等の新たな取り組みにより、疲弊した地域経済の立て直し。

2. 人材登用

○人材の適正配置について。

### 齋藤 光司 議員

1. 雇用について

○現在の雇用環境をどうみるか。

○十文字地区中核企業の雇用危機が予見されているが、見込みと市としての対応、対策を伺う。

○来春新卒者の雇用対応、対策は。

2. 新型インフルエンザへの対策

○足りないワクチンと、接種の優先順位をどうしていくのか。

○感染拡大時の治療体制は。

○発病時の学校、職場の対応策、マニュアルはできているのか。

○市民への予防指導、啓蒙策は。

3. 生涯学習センター費について

○枠配分方式による一律減額予算は、地域コミュニティを崩壊させないか。核となる公民館事業費激減をどう分析するか。

○地域コミュニティをどう考えるか。その強化の有効策は。

○施設管理費、修繕費の圧迫で、ソフト事業の相次ぐ廃止、削減。分離をすべきでないか。



議場での一般質問のようす

## 7月臨時会の概要

臨時会は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の実施に係る補正予算案をはじめ、地域経済の活性化と雇用確保を目指す施策が審議の中心となりました。

大型の補正予算となった多数の事業内容の審査では、各々の事業を計画した根拠についての質疑が相次ぎました。当局からは、総合計画に基づくものやこれまで実施できなかつた事業が主なものであるが、緊急な措置であったため、事業計画に精査の足りない部分があったことも否めないとの説明がありました。

### 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の審査

### 補正予算案の一部を、当局は訂正、議会では修正

一般会計補正予算案は、15億円を超える予算規模と、事業が多岐にわたることから、翌日まで会期を延長して、審議を行なうこととなりました。

22日、当局から一般会計補正予算訂正の申し入れがあり、議会で了承しました。その後、一般会計予算特別委員会と各常任委員会の審議内容が報告されました。

提案された事業のなかで、民間による放送局開局に向けたコミュニティFM支援事業と、観光や地域づくりを目的に道の駅さんないに民家2棟を移築するかやぶき屋根古民家活用事業については、目的や運営など事業内容について理解が得られませんでした。

採決では、一般会計補正予算案に、一般会計予算特別委員会から修正案が提出され、採決の結果、修正可決となりました。

また、その他の議案については、原案のとおり可決し、臨時会を閉会しました。